



南武(東京都大田区) 真木 希嘉さん(21)

モノづくりで輝く 現場女子

28

油圧シリンダーの穴開け加工を担当しています。旋盤加工が終わった品物にドリルで穴を開けます。およそ50本あるドリルはサイズが少しずつ違います。加工の度合いや材質によって素早く使い分ける仕事で、

角度の計算にサイン、コサイン、タンジェントを使うこともあります。毎日が勉強です。分らないことは先輩を

「ドリルガールズ」に憧れ

言われているので、もっと頑張らないと。

一番感動するのは、図面を見て、「こんなのできるわけじゃないじゃん」という品物が、きちんとでき上がる瞬間です。モノづくりのいいところは仕事の成果がはっきり目に見えること。自分の技術が未熟であれば、品物の仕上がり具合にはっきり表れます。そんな時は、先輩からでき栄えを講評してもらって、自分に足りないところはどこかを考えます。

入社からずっと現場で働いていて、もうすぐ4年目です。入社前から、ずっと製造業で働きたいと思っていました。母校は地元の蒲田女子高校で、バレーボー

ル部の先輩が先に入社していたんです。

南武は昔から、女性が製造現場で働いていることで有名で、先輩も工作機械を

操作する「ドリルガールズ」の一人でした。地元で女性が生き生きと働いていることに憧れがありました。

先輩から仕事の話を聞く内に「モノづくりっていいな」と思うようになりました。体を動かす仕事が好きなんです。事務職は最初から考えていませんでした。早く経験を積んで、まだやったことがない旋盤加工もやってみたい。

休みの日はファッション誌を読んだり、ショッピングに出かけたり、マイペースで過ごしています。最近、ダーツを始めたので、今は友達よりうまくなるのが目標です。

(水曜日掲載)